

医療管理学演習	2年・後期	1単位	非常勤講師 一戸 真子
科目カテゴリー	看護の対象の理解	科目ナンバリング	32320522

1. 授業のねらい・概要

医療管理学で学んだ内容について理解を深められるよう、具体的な課題を活用して演習を行う。外来部門、病棟、手術部門、集中治療部門、薬剤部門、画像・放射線部門、検査部門、リハビリテーション部門、事務部門、地域医療連携部門、緩和ケア機能などの具体的な部門や機能の理解、さらに各部門・機能にはどのようなスタッフがおり、どのような役割を果たしているかについて、またチーム医療の実際についても理解を深めながら、ベストなアウトカムとなるために必要な視点について演習を実施する。今後より重要となる地域包括ケアにおける連携や質管理についても理解を深められ、地域医療全体でどのような役割が期待されているかについても演習を行う。ヘルスケアサービス提供においては、“人”が最も重要であることについても学べるよう、演習する。

2. 学修の到達目標

1. 病院の組織と機能について説明できる。
2. 各部門や機能におけるスタッフや各役割について理解できる。
3. チーム医療や連携の重要性について理解できる。
4. 患者満足度やスタッフ満足度などの意味やヘルスケアサービス提供における“人”の重要性について説明できる。
5. 地域医療を含む地域包括ケアにおける看護職の役割について説明できる。

3. 授業の進め方

一言で医療機関といっても様々な機能や役割があり、患者ケアのアウトカムに影響を与えていることについて理解を深められるよう、演習を通して進めていく。また、最新の情報を活用するため、マルチメディアセンターにて行う。

4. 授業計画

1. 病院組織における各部門の役割およびチーム医療の重要性	9. 地域医療連携部門
2. 診療部門・看護部門	10. 診療所・薬局の役割と連携
3. 手術・集中治療部門・救急部門	11. 訪問看護ステーションの役割と連携
4. 薬剤部門・リハビリテーション部門	12. 保健施設・福祉施設の役割と連携
5. 検査部門・画像・放射線部門	13. 地域包括支援センター・在宅介護支援センターの役割と連携
6. 医療安全・感染対策チーム	14. 病病連携、病診連携
7. 栄養サポートチーム、緩和ケアチーム等	15. 地域包括ケアにおける看護職の役割と“人”の重要性
8. 診療情報管理部門・事務部門	

5. 成績評価の方法・基準

グループワーク 30%、レポートおよび期末試験 70%。

6. テキスト・参考文献

テキスト：特に使用しない。必要な資料については、授業中に配布もしくはダウンロードする。

参考文献：必要に応じて授業中に紹介する。

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

グループワークの発表準備に各1時間程度確保して欲しい。

8. 受講上の留意事項

病院を中心とする医療機関には、具体的にどのような機能があり、スタッフが働いており、どのような患者サービスを提供しているかなど、医療機関の実際について理解を深めることによって、自身の病院選びにも是非参考にしていただきたい。

9. 課題に対するフィードバックの方法

レポート実施内容については、提出後に解答などを説明する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

選択科目である。